

# 2016年 新卒採用はこう変わる！

講師：寺澤康介氏（HRプロ株式会社 代表取締役社長、HR総研 所長）

平成 27 年 3 月 13 日（金）／産業貿易センター 〈中小企業委員会〉

2016 年 4 月入社予定者の採用活動のスケジュールについて、経団連が政府の要請を受けてこれまでの倫理憲章を見直し、新たに採用広報の解禁を 3 月～、採用選考の解禁を 8 月～とした「採用選考に関する指針」を公表したことを踏まえ、新卒採用を取り巻く環境変化の実情とこれからの方向性について解説していただいた。概要は以下の通り。

■景気回復基調から各企業の採用意欲は旺盛で、2011 年卒以降の 4 年間は求人倍率も 1.3 倍未満と低迷していたが、2015 年卒は 1.61 倍と急回復。

■企業規模別では、1000 人以上では 0.73 倍の前年から微増だが、1000 人未満は 1.91 倍から 2.57 倍と急伸。中堅・中小企業の採用環境は厳しい。

■2016 年卒採用の各企業の計画によると、全体的に「増やす」が「減らす」を大きく上回る。特に、理系の学生に対する採用意欲は極めて高い。

■採用スケジュール変更で、採用活動は短期化されると言われているが、必ずしもそうではない面もあり、インターンシップなども含めると逆に長期化するという見方もある。

■採用対象の大学に対する企業のターゲティングは一層強まると考えられる。

■インターンシップを採用に繋げる動きが増え、新規に始める

企業が中小でも増えてきている。実施期間も 2 週間程度が減少し、半日～1 週間のタイプが増えている。実施 1 日というのも多数。

■これから重要なのは、学校との繋がりを強化すること、選考活動をフレキシブルに対応できること、内定者のフォローをきちんとすること、経営者・トップ層が必ず採用に関与すること。

